

平成16年度外部委員会（教育目標評価委員会・教育システム改善委員会）  
合同会議 記録（案）

日時：平成17年1月29日（土）15：00～17：00

場所：農学生命科学部445室

出席者：〔外部委員〕 山形,笹森,田中,砂沢,櫻田(隆),桜田(清),山田

〔プログラム教官〕 万木,工藤,佐々木,泉,角野,加藤,谷口,高橋,桧垣,藤崎

進行：工藤

記録：藤崎

前回の記録の確認

資料1の通り承認された。

経過説明

別紙「審査に向けての活動」等に基づき説明があった。

議題

（1）教育目標評価委員会

学習・教育目標について、指導助言の指摘などを受けて修正した「17年度用 学習・教育目標」（資料2）が示された。これに対し、外部委員より目標による文言の不統一、測量の位置づけ、環境という言葉をやや安易に使っているという指摘があったので、これらを踏まえ、さらに文言を修正していくこととなった。

また、アメリカのものを参考に、より具体的な目標を書いた方がよいのでは、との外部委員の意見に対し、アメリカを参考にしたわけではなく、JABEEではこの程度の抽象的な目標を求めている、より詳細な目標については各授業科目のシラバスで表現するようになっていること、このため授業の記録が厳しく審査されること、各目標と授業科目との関係も明確になるよう17年度からシラバスにも記載する予定であることの回答があり、了承された。

学生の達成度評価についても外部委員から質問があり、審査で甘いという指摘されないよう努力していること、卒業要件は満たしたがJABEEの基準に達することがないようポートフォリオ等で指導していることの回答があり、了承された。

（2）教育システム改善委員会

授業評価について、学生アンケートに加え、試行中の教員相互の授業評価について説明があった。

教員相互の授業評価の必要性に関して外部委員から意見があり、他大学では実施例が少ないがJABEEでは必須項目であること、最低限の目安として50点を設定していることの回答があった。

学生アンケートの設問の簡素化についての意見に対しては、やはりこの程度学生からの視線を意識することが必要であることの回答があった。

学生からの自由記入による聴取を求める意見については、各教官で行っている場合があるとの回答があった。

以上を踏まえ、現在のシステムを継続する方向で了承された。

次に、教育設備の改善について、計画を立案し取り組み始めたことが報告され、外部委員に対し、各職場で不要になった機器等の寄贈について依頼があり、了承された。

そして、プログラム登録学生のプログラム変更について外部委員から質問があったのに対し、原則としてプログラム変更は不可能で、かつ、そのことを十分学生に周知させていると回答があり、了承された。

また J A B E E プログラムに依らずに技術士試験を受験して技術士を目指す道を案内しているか、という質問に対し、多少説明はしている旨、回答があり、了承された。

その他

次年度から、各職場へ委員の依嘱願を提出することとした。

今回は、6月頃の土曜日の午後に開催する予定とした。